



# 校長室の窓から



座間市立東原小学校  
電話253-3145

東原小キャラクター「かめっち」

3学期がスタートしたと思ったら、早くも2月に入ります。

学校では、児童会の認証式があり新しい児童会役員が承認されました。「～な学校にしていきたいです。」などの力強い挨拶がありました。また、2月の授業参観に向けて一生懸命準備を進めています。

前向きな気持ちで進学・進級に向かっていけるよう、一日一日を大切にして教育活動を進めていきたいと思います。



児童会役員の認証式！緊張の面持ち 持久走！頑張って走る子どもたち おにぎり給食！作ったことある人？

## 本に親しもう！図書室に行こう！

東原小学校では、たくさんの子どもたちに本を読んでほしい、本を借りてほしいという思いから、図書委員会さんがイベントを企画してくれています。委員会担当の先生は、毎年、子どもたちのアイデアを生かして一緒に計画しています。今年度は、「いざ勝負 図書委員とジャンケン！」という企画で、本を借りるとジャンケンができる、勝つと手作りの景品がもらえます。「少しにぎやかになってしまふのですが。」とのことですが、普段より多くの子どもたちが図書室(学校図書館)を訪れているようで、本を読むきっかけ作りになっていると思います。生き生きと活動する図書委員の5・6年生の姿、楽しそうにジャンケンに臨む子どもたちの姿を見ると、何か活動をすると、その目的以上の成果が得られると思いました。異学年交流、高学年としての意識…企画・準備は大変でも、子どもたちの発想を大事にしながら様々な活動を取り入れていきたいものです。

図書室には、司書の先生がいて、様々な工夫をしてくれています。季節やテーマに合わせた本の展示、子ども新聞の紹介…展示してある本は思わず手に取りたくなります。時間を気にしなくていいのなら、1日図書室にいて好きな本を次々と読んでみたいなあと思ったことがあります。読書が好き、身体を動かすことが好き、お絵描きが好き…やりたいことは人それぞれですが、図書室は、リフレッシュしたり、温かい気持ち・穏やかな気持ちになったりもできる空間だと思います。

先日、4月に入学を迎える保育園児が学校見学にきました。図書室に案内すると、「わー、こんなに本がある！」「本屋さんみたい！」と声があがりました。改めて魅力的な場所だと思いました。

今、クロームブックが導入され、学習中の調べ活動も各自のクロームブックですることができます。でも、同時に本や図鑑での調べ学習も大切にしています。調べ学習をしている学年には、移動図書館のように学習に合わせた本が並べられた棚が廊下に置かれています。

週に1回の朝読書の時間には、時々読み聞かせボランティアの方々が読み聞かせをしてくださいます。カエル、へび、鬼を次々飲み込んでいく絵本では、飲み込もうとする度に「ダメだよー！！」と子どもたちの反応があり、かわいいかったとの話がありました。本には、クラスが一体感に包まれるような、そんな魅力もあると思います。